

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果【児童発達支援】

事業所名 聖隷こども発達支援センターかるみあ

公表日 2026年3月26日

利用児童数 2025年9月1日 在籍児51名対象

回収数 50名/対象51名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの部屋が狭く、全員がのびのびと活動出来るスペースがないのではと感じる。 ・もう少し広いスペースでのびのび過ごせるとより良いと思います。 ・こども達が過ごしやすい空間作りになっていると思います。 ・組によって狭い教室と広い教室があると感じている。 ・子供の人数に対して十分な広さがあると思います。 ・おもちゃと絵本が離れたところにあって空間が別れているから過ごしやすい。 ・目的に沿った活動部屋がありいいと思います。 ・違う部屋でも体を動かしたりリラックスすることが出来てます。 ・1度教室に入った際に、お部屋がすごく広々としており、つまづきそうな所などがなく子供達が動きやすい環境だと思いました。 	限られた空間を有効に活用できるよう、活動内容に合わせてクラス内を2グループに分けるなど、お様が集中して過ごせる環境づくりに努めています。また、各クラス間で絵本コーナーや遊戯室、園庭の使用時間を事前に調整・共有することで、活動スペースの重なりを防いでいます。さらに、クラス隣接の倉庫を活用して不要な備品をこまめに収納するなどの工夫も行っていきます。今後も定期的に環境を見直し、さらなるスペースの創出を図りながら、こどもたちがゆったりと過ごせる場所を確保してまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	47	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・だいたい3名ほどいてくれていいと思います。 ・こども達の活動への配慮が行き届いていると思います。 ・娘のクラスは担任の先生が3人いて、先生がお休みの際も他の先生が入ってくださるため。 ・先生方が多いので、しっかり見てくれている印象です。 ・食事等について、十分なケアが行われているように感じる。 ・適切だと思います。 ・普段の様子がわからないため、適切かどうか判断できない。 	法令遵守はもとより、お子様の安全を第一に考えて質の高い療育を提供するため、全クラスにおいて基準配置の人数以上の職員数を配置しています。また、個別対応が必要な場合には、職員がマンツーマンで付き添うなど、状況に応じた協力体制を実施しています。常に職員間での連携を図り、子どもたち一人ひとりが安全かつ安心して過ごせるよう細心の注意を払っております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	47	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・登園後の支度の手順表が壁に貼ってあって子どもがそれを見ながらやるのでいいと思います。 ・こども達が過ごしやすい空間作りになっていると思います。 ・物の住所が決まっており、写真や文字でわかりやすく記名されているため。 ・活動中は気が散らないように工夫されていると思う。 ・周りなどに配慮しており子供の転倒などにしっかりカバーされてると思います。 ・部屋に入って、子どもが何をするのか(登園時の準備)が分かっているため、子どもにとってわかりやすいのではないかと思います。 	クラスごとに、朝の支度や各活動の場面において、お様が「次に何をすべきか」を視覚的・空間的に理解しやすいよう、適切な環境設定(構造化)に取り組んでいます。支援の工夫については、個別の面談室を確保してプライバシーに配慮した相談支援を行ったり、保護者座談会を通じて日常の環境設定のポイントを具体的にお伝えしたりするなど、ご家庭との情報共有を大切にしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	49	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日お掃除してくださっていてとてもキレイだと思います。 ・清潔で広々なスペースです。こども達の活動に合わせた空間だと思います。 ・いつも綺麗に整理整頓されているため。 ・1度だけですが、日中一時を利用してお迎えに行った時、お昼寝の部屋がとてもおうち(アンモニア臭のようなにおい)がありました。 	衛生的な療育環境を維持するため、隣接施設のチャレンジ工房へ毎日の清掃を依頼しています。また、日中も必要に応じて職員による細やかな清掃活動を行っています。換気面において空気が滞留しやすい箇所があるという課題に対し、次年度は適切な位置へ扇風機を増設するなどの対策を予定しています。今後も常に清潔で心地よい空間づくりに努めてまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	47	1	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し個人に合わせてクラスを跨いで活動や生活するところもあっていいのではと思います。(食事は違うクラスで試したり、活動内容によってクラスを変えるなどその子に合わせて変えてみるなど) ・こどもに寄り添う支援がなされています。 ・先生からの帰宅前の報告でいつも子供のことを良く見てくれていると感じるため。 ・発達の促進、食事面の改善など効果が見られるため、適切に行われていると感じる 	かるみあには、保育士をはじめ、言語聴覚士(ST)、作業療法士(OT)、公認心理師、看護師といった多職種が在籍しています。専門領域を越えて密に情報共有を行い、多角的な視点をお子様一人ひとりの支援計画へ反映させています。クラス間の交流についても、サーキット運動や音楽療育、自由遊びなどの活動内容に応じて合同で実施するほか、集中が必要な場面ではクラス内を2グループに分けるなど、状況に合わせた柔軟な環境設定を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	47	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・公表どおりの支援内容だと思います。 	支援プログラムについては、『聖隷の発達支援事業』のホームページ内に公表しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	50	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> こどもの発達に応じた支援計画が作成されていると思います。 担任の先生方、施設の責任者の先生、私達保護者の意見、要望がしっかりと反映されていると思う。 面談に納得いく説明を受けているため、きちんと熟慮の上作成されていると感じる 	聞き取りを通じて保護者様やお子様本人のニーズを丁寧に汲み取り、アセスメントツールを活用して客観的な根拠に基づいた個別支援計画を作成しています。また、必要に応じて多職種（ST・OT等）も会議に加わり、多角的な視点から支援方法を検討しています。お子様一人ひとりに最も適した支援を提供できるよう、熟慮しております。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	49	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人一人に具体的な支援内容が設定されています。 それぞれの項目で詳しく明記されていると思います。 面談に納得いく説明を受けているため、きちんと熟慮の上作成されていると感じる 	「本人支援」「家族支援」「移行支援」の各項目について、支援の方向性や具体的な手法を個別支援計画の中に明記しています。面談時にはお子様の成長に合わせた具体的な支援方法を保護者様に直接お伝えし、共通の理解を図れるよう努めています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	50	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 目標を掲げ、達成出来たかの確認と、新たな目標設定を行うのサイクルで計画に沿った支援がなされています。 	クラスごとの年間目標を軸に据えつつ、お子様一人ひとりの個別支援計画に基づいた活動内容を検討し、日々の療育の中で実践しています。集団としての育ちと、個別の課題解決の両立に努めています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	48	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 継続して行えるような柔軟な活動プログラムを実施していると思います。 日々活動内容が変わるので、工夫されていると感じます。 子どもの特性や感情に合わせて工夫されているように感じる 	活動プログラムについては、年間・月間を通して「5領域」に沿った目標を掲げて作成しています。似通った活動であっても、スモールステップで段階的な支援を行うことで、お子様が達成感を得て次のステップへ挑戦できる意欲を育てています。また、外部研修での学びや職員間の意見交換を通じて活動内容を見直し、プログラムが固定化されることのないよう仕組みを整えています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	32	5	3	10	<ul style="list-style-type: none"> 並行通園することで交流できていると思います。 他の行事と重なったり体調を崩して交流会に参加出来ていませんが地域のこどもと活動する機会を設けて下さっています。 もう少し機会が多くていいのではと思う 定期的に地域の幼稚園の児童と交流する機会があるため。 実施しているのかもしれないが、参加していないのでわからない。 	単独通園のお子様を対象に、地域の幼稚園との交流会を実施しています。また、地域の園と合同での防災訓練を行うなど、並行通園のお子様も実践的な連携を通して交流を深めています。今後は地域の幼稚園だけでなく、より広い視点を持って地域資源の活用や新たな交流先を模索し、こどもたちの社会経験がさらに豊かになるよう検討を進めてまいります。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	50	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 紙と口頭でも説明がありました。 保護者向け説明会で説明いただいています。 利用を始める前に詳しく説明していただきました。 	サービスの利用開始時はもちろんのこと、毎年行われる新年度説明会の場を通じ、施設の運営方針や支援内容について丁寧にご説明させていただいております。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	50	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な面談スケジュールを組み、支援内容を説明下さいます。 支援計画の項目ごとの一つずつ説明していただきました。 	評価面談の際には、作成した個別支援計画書を保護者様と共に確認しながら、児童発達支援管理責任者より直接ご説明をさせていただいております。計画のねらいや具体的な支援内容、現在のお子様の進捗状況を丁寧にお伝えし、保護者様のご意向を伺いながら、共通の認識を持って支援が行えるよう努めています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	46	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 冊子とかでも欲しいと思いました。 なかなか良い機会を得られずペアレント・プログラムに参加出来ない状態が続いてますが家族参加のお手伝いは子供たちに好評なのでもっと機会を増やしてくれたら嬉しいです。 ペアレントプログラムを受講しました。 ペアトレは希望する人がみんな受けられると嬉しい あるが、より身近な研修会（痾癩を起こした時の対応方法、療育手帳について）なども実施してほしい。 	保護者支援の一環として、年に1回「ペアレント・プログラム（全6回）」を開催しています。受講後のアフターフォローを定期的な座談会の場で行うほか、未受講の保護者様に対しても座談会の中でプログラムのエッセンスを共有し、共に学びを深める機会を設けています。また、年間を通したテーマ別座談会「グループキラキラ」や教育講演会を企画し、保護者様自身の学びと他の保護者様と交流が出来る機会を提供しています。今後もより多くの方にご参加いただけるよう、積極的な情報提供と呼びかけに努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	48	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 登所時御迎え時毎日児童の状況を伝えて下さいます。児童の健康や発達の状況の情報を共有出来ていると思います。 毎日先生とお話しする時間が、日々の些細な変化も共有出来ていると感じます。 日頃、連絡帳や送迎時の会話で十分なコミュニケーションが出来ている 	お迎えの際にお子様のその日の様子を直接お伝えするほか、「コドモン」の連絡帳機能や写真販売を活用し、写真や文章を通じて日々の成長を細やかに共有しています。また、保護者様のご希望や状況に応じて、クラス担任や児発管・管理者が随時面談を実施しています。対面とICTツールの両面から密なコミュニケーションを図ることで、ご家庭と園との共通理解を深めるよう努めています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	48	1	0	1	・いつでも聞いてくれてありがたいです。 ・定期的に面談日を設けていただきアドバイスをいただいています。	個別支援計画の説明時には、児童発達支援管理責任者がお子様のご様子や保護者様のお悩み事を丁寧に伺い、助言を行っています。また、クラス担任も半年に1回程度の頻度で定期面談を実施し、日々の活動を通じたお子様の成長の様子をお伝えしながら、保護者様のお気持ちに寄り添った傾聴とご家庭で実践しやすい内容を助言させていただいています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49	1	0	0	・職員の方々全員が保護者への声掛けを徹底していると思いました。支援が行き届いています。 ・先生方がいつも暖かく迎えてくださります。	保護者様の想いに寄り添い、丁寧な対話を通じて伺ったご意見を日々の支援や保護者支援の充実へと繋げています。個別支援計画の策定においても、保護者様の願いやご意向を計画に反映させ、その内容をチーム全体で共有しています。かるみあとご家庭が同じ目標を共有し、一丸となってお子様の成長を支えさせていただくことを大切にしております。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	47	1	0	2	・うちの子の姉はきょうだいイベントが好きです。ただそこで他のきょうだいの子と交流するかは別のようです。 ・家族参加のお手伝いは子供たちに好評なのでもっと機会を増やしてくれたら嬉しいです。 ・イベントや親睦会を定期的に開催させていただき、兄弟と一緒に参加して良いものも多く家族で楽しんで参加させていただいています。	「お兄さんお姉さん先生」という行事を企画し、お子様とごきょうだいがかるみあでの活動を通じて交流できる機会を設定しています。また、給食の時間には他のごきょうだいと一緒にごきょうだいの場を作り、自然なコミュニケーションを図る場を設けています。その他、ご家族皆様で参加いただける防災イベント、びゅあ祭り、ふれあい動物園なども開催いたしました。来年度もご家族の皆様が共に楽しみ、様々な体験が出来る行事を数多く企画してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	45	0	0	5	・必要なとき(急病など)迅速に対応いただけてます。 ・相談、申し入れはしたことが無いが、その場合の連絡先等は説明していただきました。 ・随時、親身に対応いただいている	保護者様から相談の申し出があった際には、迅速に対応することを徹底しています。お困りごとや不安に対し、時間を置かず耳を傾けることで、問題の早期解決と安心感の提供に努めています。日頃から「いつでも相談できる」という信頼関係の構築を大切にしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48	2	0	0	・対面だけでなくメールやアプリを活用した方法でも意思の疎通をはかれるように配慮がなされています。	情報伝達の手段として、対面でのコミュニケーションはもちろん、「コドモン」アプリ、メール、お電話など、状況に応じた柔軟な対応を行っています。また、面談の際にはプライバシーを保護し、落ち着いたお話しいただけるよう個室へご案内しております。タイミングによりお部屋の確保が難しい場合がございますが、スムーズに適切な環境を提供できるよう、事前の調整や工夫を強化してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	42	5	0	3	・メールやアプリで情報を受け取っています。そしてアンケートで回答します。双方向の情報伝達が行われています。	年度初めには、年間計画を掲載した「かるみあのしおり」を配信し、ご家庭で各行事の見通しを立てていただけるよう配慮しています。お子様のかるみあでの様子については、コドモンアプリを通じて4ヶ月に1度のペースで写真を販売し、日々の活動風景を視覚的にもお届けしております。また、自己評価結果については毎年年度末に「聖隷びゅあセンター磐田」のホームページへ掲載し、コドモンでも併せてご案内しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	48	1	0	1	・保護者への説明会で個人情報配慮についての説明を受けています。	個人情報の管理を徹底するため、職場会議を通じて定期的に取り扱いルールの周知を行っています。また、職員研修の一環として事例検討を実施し、具体的な場面を想定した情報の取り扱いについて学びを深めています。全職員が高い意識を持ち、大切なお子様やご家庭の情報を守る体制を維持しています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	45	2	0	3	・説明がありました。定期的に訓練があります。 ・年間行事にもきちんと組み込まれており、安心できる	各種安全管理マニュアルを完備し、お子様の安全確保を最優先に運営しております。防犯面では警察署の協力のもと、年1回様々な場面を想定した事業所合同の防犯訓練を実施しているほか、保護者様との「引き渡し訓練」も実施し、有事の際の連携に努めています。一方で、マニュアルの内容については保護者様への十分な周知に至っていない点を課題として認識しております。今後はコドモン内への資料掲載等も検討し、保護者様の安心に繋げてまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	49	0	0	1	・定期的に訓練が行われています。	有事に備え、様々な災害・事故を想定した避難訓練を毎月1回以上実施しています。今年度は通常の訓練に加え、車両利用時の安全を確保する「乗降者訓練」や、行方不明時を想定した「捜索訓練」を新たに取り入れ、不測の事態への対応力を高めました。また、総合防災訓練では磐田消防署の指導のもと、職員が実践的な搬送法を学ぶなど、専門機関と連携した救命・安全スキルの向上に努めています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	49	0	0	1	・安全確保のため余裕をもたせて支援が行われていると思います。 ・子どもの安全が守られていると思います。	年度当初の説明会やご契約の際に、当園の「安全計画」の内容をご説明し、保護者様がいつでもご確認いただけるようコドモアプリ内にも掲載しています。日々の防災訓練等においても、この安全計画に基づき、お子様一人ひとりの発達段階や特性に応じた無理のない、かつ実践的な訓練プログラムを策定・実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	41	1	0	8	・保護者への説明会で説明を受けています。 ・今まで事故が無かったためわかりません。 ・発熱した際、速やかに連絡いただけた	事故発生の際は、速やかにお子様の安全確認と適切な応急処置を行い、保護者様へ状況説明を行っています。事後には速やかに事故報告書を作成し、事故に至った原因の究明と具体的な再発防止策を策定しています。また、対策の有効性を半年以内に再評価する仕組みを運用しており、組織全体の安全意識と支援技術の向上を図っています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	46	2	0	2	・職員の方に甘えて安心して過ごしています。 ・先生方とお友達が大好きなのでとても安心していると感じます。	お子様が毎日安心して通えるよう、一人ひとりの特性に合わせた環境設定を行っています。活動においては、無理なく取り組めるようスモールステップでの取り組みを行い、小さな「できた！」の積み重ねを大切にしています。成功体験を通じてお子様が本来持っている力を引き出し、自己肯定感と自信を育めるよう、支援に努めております。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	45	2	2	1	・コミュニケーションでは子供の気持ちはよくわからないですが、逃げ出そうとしないから、満足していると思います。 ・給食に苦手なものが出ないかだけ気にしていますが、通所したいは楽しんでいます。 ・時々行き渋りがあるため、でも行ってしまえば楽しんで過ごしている印象。 ・毎度通所を楽しみにしています。 ・気分によって渋ることがあるが、帰宅後に子どもから「楽しかった」と聞けることが多い ・たまに泣けてしまう日がありますが先生の顔を見ると安心して教室に入ってくれます。	お子様が主体的に楽しめるよう活動の題材を工夫し、給食においても「絵本給食」などのイベントを通じて、食べる喜びや食への興味を育む食育を実践しています。言葉による意思疎通が難しいお子様に対しては、大人が共感的に関わり、表情や仕草、全身を使った表現の楽しさを分かち合うことで、信頼関係を築いています。苦手な活動もスモールステップで少しずつ進めることで、「できた！楽しい！」という成功体験を積み重ね、自信を持って個性を伸ばしていけるよう、今後も温かく支援してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	49	1	0	0	・職員の方々が利用者全員へ配慮があり支援に満足しています。 ・いつも親子共々、施設の皆さんにたくさん支えてもらっています。何より娘が毎度通所を楽しみにしていて、親として安心して行かせてあげられるのが有難いです。	日頃よりかみあへの運営にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。かみあでは、お子様や保護者様のニーズを丁寧にすくい上げ、その想いに寄り添いながら具体的な援助へと繋げられるよう、クラス会議や職場会議を通じてチーム全体での情報共有に日々努めています。また、お子様の成長を肌で感じていただけるよう、参観や座談会などの機会も大切に企画してまいりました。今後も、かみあでの支援がご家庭や地域園での生活に反映されるよう、質の高い支援を提供できるように努めてまいります。